

横浜・金沢シーサイドタウン住宅地のアーバンデザイン/1

2014. 2. 22

アーバンデザイナー 西脇敏夫

1、金沢シーサイドタウンのアーバンデザイン構想

全体計画と一号地住宅地計画(並木1丁目)

2、二号地住宅地計画

3、二号地住宅地北ブロック計画(並木2丁目)

4、二号地住宅地南ブロック計画(並木3丁目)

横浜・金沢シーサイドタウン住宅地のアーバンデザイン

1、金沢シーサイドタウンのアーバンデザイン構想



参考：「都市住宅 特集/横浜シーサイドタウンの実験」
金沢シーサイドタウンのアーバンデザイン構想 田村明

1、金沢シーサイドタウンのアーバンデザイン構想

金沢埋立地の計画

横浜市最後の大埋立地を、横浜の都市整備戦略である六大事業の一つとして活用

(六大事業 都心部強化事業・金沢地先埋立事業・港北ニュータウン・高速鉄道・高速道路・ベイブリッジ)

都心部などで用途上や公害などで問題のある工場などを環境整備した形で移転し、移転跡地を都市再開発に利用

資金は企業からの前売金でなく自主的に運用できるマルク債

土地利用 (660ha)

都市再開発用地区 (工場、流通団地、木材団地、都市施設、公園など)

住宅地区 (住宅、学校、商業センター、旧漁港、緑地公園など)

海の公園地区 (人工島、人工海浜、漁港など)

1、金沢シーサイドタウンのアーバンデザイン構想

金沢埋立地の土地利用計画



金沢地先埋立土地利用計画図

●金沢地先埋立事業概要

施工箇所——金沢区富岡町から平潟町に至る地先海面（延長約7,000メートル）

埋立面積——660万㎡

都市再開発用地——258万㎡

住宅用地——82万㎡

海の公園用地——70万㎡

公共用地——250万㎡

- 都市再開発用地
- 住宅用地
- 公共用地：公共施設用地
- 公共用地：公園・緑地
- 公共用地：幹線道路
- 公共用地：区画街路・下水道敷等
- 公共用地：自転車歩行者専用道路
- 公共用地：学校用地

1、金沢シーサイドタウンのアーバンデザイン構想 住宅地計画とアーバンデザインの導入

埋立地における住宅地の意味

埋立地を工場だけという重いものにしない

工場等の就業者の職住近接を図る

既存住宅地と再開発用地との緩衝的役割を果たす

漁業補償の代替地の役割を果たす

公的住宅等の供給を確保する

埋立地の住宅地を潤いのある楽しい街にしたい

それまでの住宅団地のような単なる住宅地設計（都市設計）でなくアーバンデザインの手法を実践してみたい

1、金沢シーサイドタウンのアーバンデザイン構想 住宅地計画とアーバンデザインの導入

* アーバンデザインの手法

- ・ 一つの事業体が全体を設計する都市設計とは異なる手法
- ・ 街は多くの事業体と市民が時間をかけてつくっていく
- ・ それぞれがバラバラに行動すると街として機能、形態、景観が雑然となる
- ・ 都市計画のルールや公的事業だけでなく、多種多様な主体が参加しながら都市空間にハーモニーを創り出す一定の秩序が必要
- ・ そのため全体の方向性を定め、個々のものがその方向性を合わすよう具体的に調整し全体をプロデュースすること
- ・ 金沢シーサイドタウンの横浜市の役割は土地を造成し売却するだけだが、どうしたら人間的な環境としてデザインが出来るかが課題
- ・ そのため、参加してくる不特定多数の事業主体を対象にしたアーバンデザインの手法が必要
- ・ 当初は、アーバンデザインを建築家の槇文彦氏に依頼し、それを行政の中で生かす試みを実施
- ・ その後、市の内部にアーバンデザインチームをつくり、2号地住宅地からは案の作成や具体化、調整をアーバンデザインチームが実施

1、金沢シーサイドタウンのアーバンデザイン構想

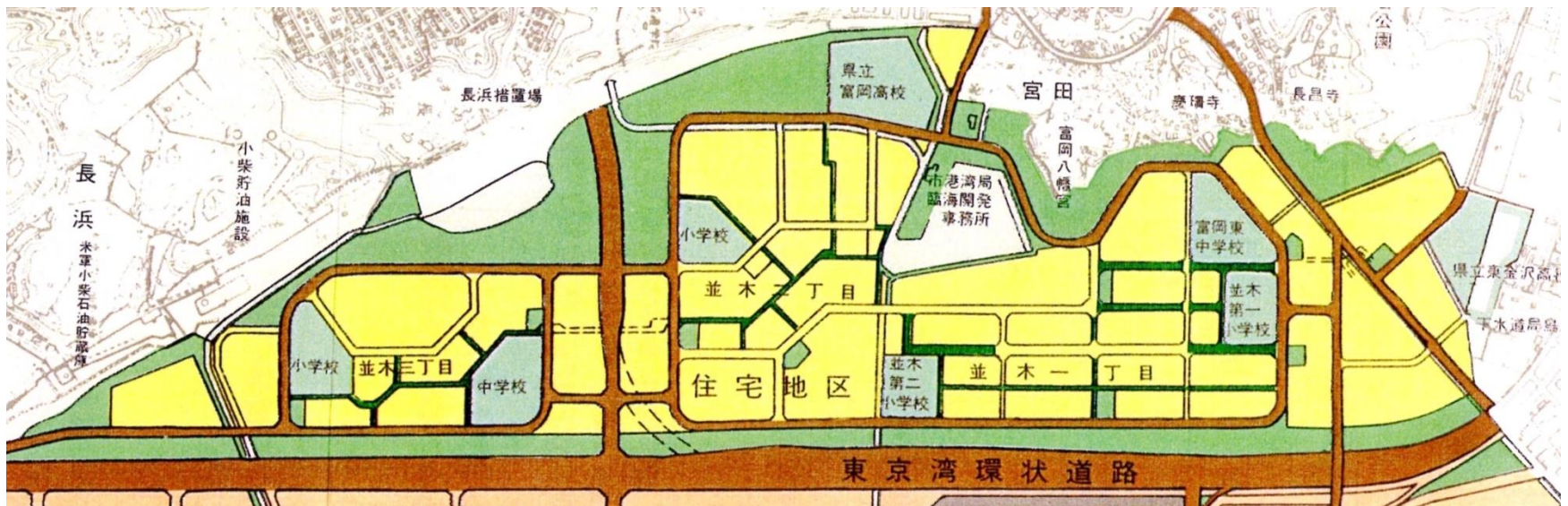
住宅地全体の基本計画

湾岸道路と環境的遮断をため緩衝緑地を設ける

旧海岸線に沿って既存緑地と一体となった緑地や緑道を設け、居住環境の向上と新旧住民の生活交流の場を提供する

住宅地の外周にループ道路を設け、住宅地内部への通過交通を排除する

旧漁港地区を住宅地内の水辺空間として活用する



1、金沢シーサイドタウンのアーバンデザイン構想

住宅地内部の基本計画

住宅地内の道路をグリッドパターン



当初のマスタープラン

歩行者専用道のネットワーク

低層住宅を配置

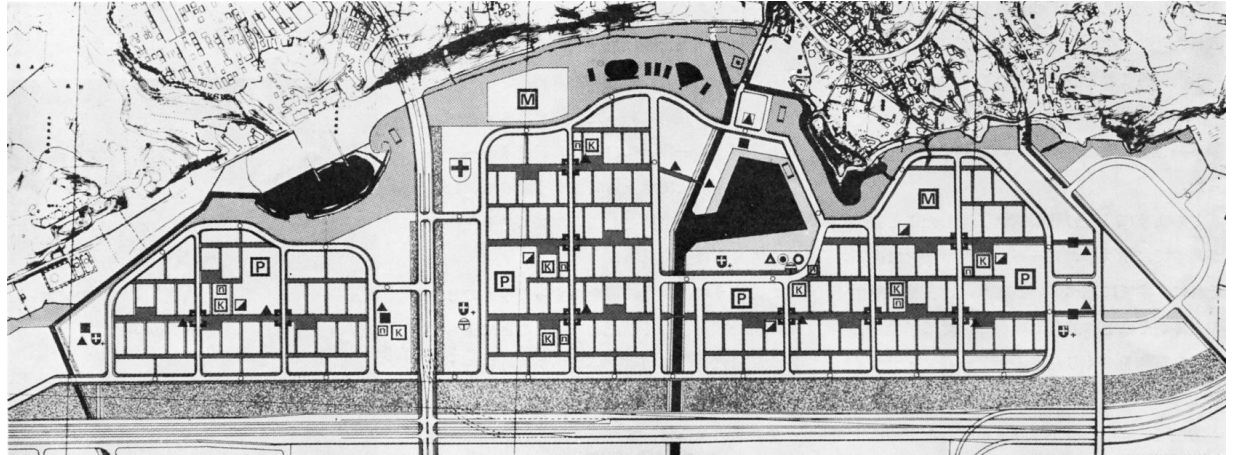
公的建築の質的向上（個性的建築家の導入）

住宅設計に環境的配慮（アーバンデザイン付宅地分譲）

サイン、植樹などについて配慮

1、金沢シーサイドタウンのアーバンデザイン構想 一号地住宅地計画

南北を歩行者道、東西を自動車道のグリッドパターン提案は、歩行者と車の共存が成立せず、歩車パターンは全体としてかなり崩れて現実化

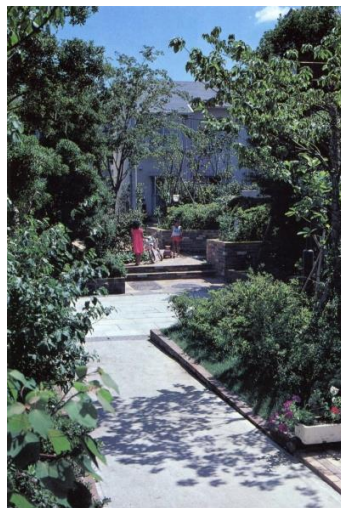


中央部にまとめて低層住宅ゾーン(基本設計 榎総合計画事務所)

公的建築 学校建築 並木第一小学校(設計 榎総合計画事務所)
富岡東中学校(設計 群建築研究所)
その他学校、保育園にも意欲的な建築家
港北ニュータウンなどの学校への展開

センター地区(設計 大高建築設計事務所)

1、金沢シーサイドタウンのアーバンデザイン構想 一号地住宅地計画



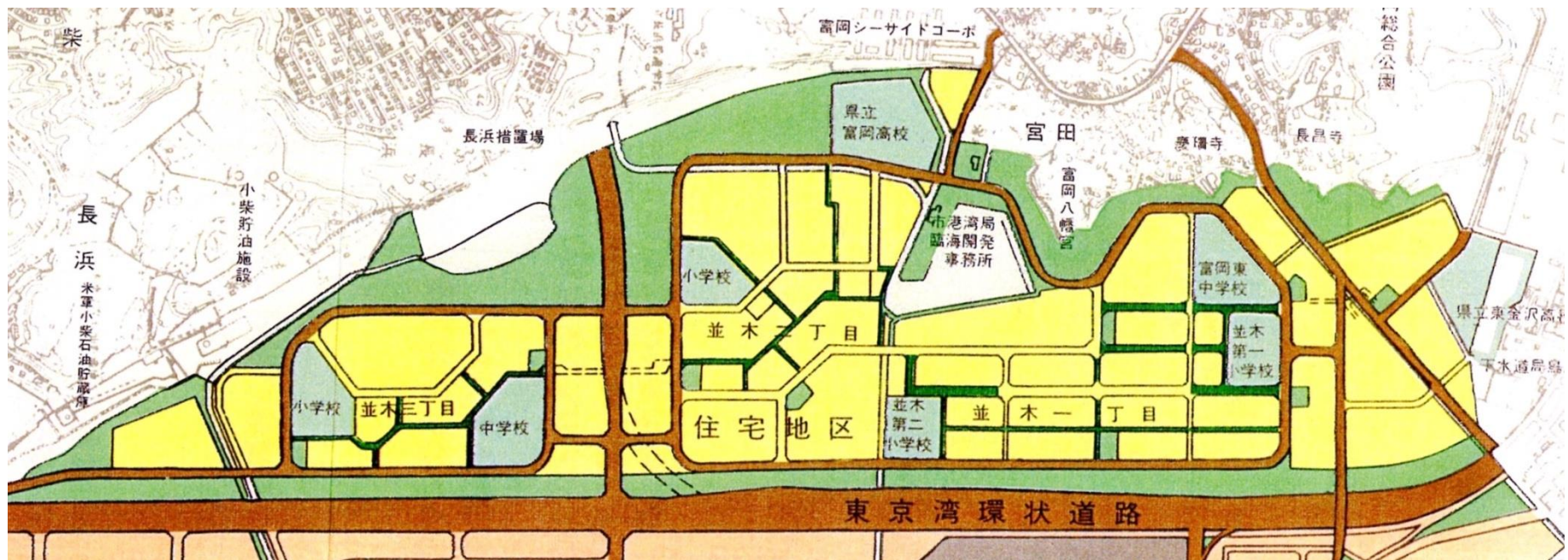
横浜・金沢シーサイドタウン住宅地のアーバンデザイン
2、二号地住宅地(並木2・3丁目)計画

参考：「都市住宅 特集/横浜シーサイドタウンの実験」
集合住宅地におけるアーバンデザインの实践
西脇敏夫／北沢猛

2、二号地住宅地計画 全体計画-1

センター地区と南ブロックを結ぶ歩行者専用道を中心軸とした歩行者道ネットワークの形成（グリッドパターンを変更）

通過交通を排除するかたちでサービス道路を配置



2、二号地住宅地計画 全体計画-2

中心軸となる歩行者専用道を中心に生活感のある親密な空間を形成

中心軸となる歩行者専用道に沿って公共公益施設を配置

中心軸となる歩行者専用道に極力オープンな表情を形成

画一的な住棟、街並みを避け、低層・中層・高層住棟の混合配置

コミュニティ未利用地の設置